



Autumn has come.

3年生ならこのタイトルの意味が正しく分かりますよね。この写真は図書館廊下の掲示物です。10

月1日が中秋の名月 (harvest moon) ということで、それぞれの月の形に応じた呼び方がきれいに解説されています。

日本人って、こうした自然の変化や豊かさにとっても敏感で、それを優雅に楽しむ余裕を持った暮らしをしていたのですね。日本語では、花や鳥、魚や木等の呼び方・名前を何種類も、時には何十種類にも細かく分けて呼ぶものがとても多くあります。それは、日本にははっきりとした美しい四季があり、年間を通じて移り変わる自然を大切に、自然と共に一日一日を暮らしていたからなのかもしれません。一カ月の月の満ち欠けを季節の変化に合わせて楽しみながら、その美しさやはかなさを味わって暮らしてきたのだと考えます。



6月の図書館前の掲示では、雨の呼び方が飾ってありましたが、それも同じですね。それに比べると、英語や他の外国語では、それほどたくさんの呼び方はありません。そこには、その国の文化や気候、暮らし方が影響しているのです。こうした言葉を見ただけでも、色々な文化の違いや背景、暮らし方などが見えてきたりします。

ぜひ、興味を持って身の回りのことを見てみましょう。秋は色々なことに集中する最適な季節です。学習面でも運動面でも実りの秋となるよう、色々な活動に積極的に取り組んでいきましょう！

<文芸部作 黒板アート>



定期テスト終了が次へのスタートです

今日、2学期の中間テストがありました。昨日・今日の登校状況を見ると、いつもよりも早めに最終登校生徒が昇降口を通過したり、昼休みには、教室でワークの問題を真剣に解いていたりと、とても前向きに学習に取り組もうとする姿勢が各学年で見られました。

例年よりも2週間多かった一学期の7月後半から8月分、そして短い夏休みが明けてから4週間分の学習内容が今回の出題範囲でしたが、自分自身の手応えは、各教科どうだったでしょうか？

何点取れたかということも一つの大きな評価ですが、それ以上に

- ① 授業に対して前向きな興味・関心を持って、積極的に予習したり、発言・発表や活動に取り組んだりすることができたか
- ② 疑問点や分からないところがあった場合に、先生や友だちに、「分かるまで」聞くことができたか
- ③ 授業で学んだ大切な知識や解き方・考え方・表現等をしっかり身につけるために、反復練習や問題演習、間違った問題の直しなどの努力に計画的に粘り強く復習できたか

と言ったことについて、自分はしっかりできていたかを振り返って評価することが大切です。定期テストは、そうした毎日の授業での取り組み、朝自習や昼休み、放課後等の取り組み、そして家庭での取り組みの集大成です。「できた。」「できなかった。」「□□点だったー。」ということで一喜一憂するのではなく、自分の取り組みや学習・授業への向き合い方、家庭学習の仕方等についてしっかりと振り返り、反省し、改善するためのスタートが今日です。

5教科の学習に対する自身の取組を振り返り、改善を図るために今日、しっかりとスタートをしてください。

